



支部だより

第 80 号

編集・発行

〒464-0039

名古屋市千種区日和町2-18

名古屋地方気象台内

日本気象学会中部支部

電話 052-751-5124

2014.11.16

目次

- ・ 2015 年度（平成 27 年度）中部支部総会の報告 1
- ・ 第 20 回公開気象講座の報告..... 2
- ・ 平成 27 年度中部支部研究会のお知らせとプログラム..... 2

◆ 2015 年度（平成 27 年度）中部支部総会の報告

2015 年度日本気象学会中部支部総会が 7 月 10 日（金）、16 時 00 分から名古屋地方気象台会議室において開催されました。開会の辞、内田裕之支部長の挨拶のあと、名古屋地方気象台の永井会員を議長に選出し、議事進行をお願いしました。事務局から出席者数と委任状の提出数の報告があり、総会成立条件を満たしていることが確認されました。

その後、支部だより第 79 号に掲載された議案(1)～(5)について審議されました。

(1) 2014 年度（平成 26 年度）事業報告

事務局から、支部だより（第 77 号、第 78 号）発行、第 19 回公開気象講座、支部研究会、サイエンスカフェの開催について報告があり承認されました。

(2) 2014 年度（平成 26 年度）中部支部会計報告

事務局から 2014 年度の会計報告があり、承認されました。

(3) 2014 年度（平成 26 年度）中部支部会計監査報告

槇野会計監査から 2014 年度の支部会計が適正に処理されている旨の報告があり、承認されました。

(4) 2015 年度（平成 27 年度）中部支部事業計画案

事務局から下記の事業計画案が提案され、賛成多数により承認されました。

- ・ 支部だより（第 79 号、第 80 号）の発行
- ・ 第 20 回公開気象講座「ヒートアイランド」の開催（8 月 22 日、名古屋大学 ES 総合館 ES ホール）
- ・ 平成 27 年度中部支部研究会の開催（11 月 24 日～25 日、東海大学）
- ・ サイエンスカフェの開催（名古屋：10 月頃と 2 月頃の計 2 回、北陸、長野、静岡地区で計 1 回の開催を予定）

(5) 2015 年度（平成 27 年度）中部支部予算案

事務局から今年度の事業計画に基づいた予算案の提案があり、賛成多数により承認されました。

◆ 第 20 回公開気象講座の報告

日本気象学会中部支部主催の公開気象講座は、気象学に関する専門的かつ最新の知識を一般の方々に分かりやすく解説することを目的に開催されるもので、今年で 20 回目を数えます。今回は、「ヒートアイランド」というテーマで 8 月 22 日（土）に名古屋大学 ES 総合館 ES ホールにおいて開催されました。甲斐憲次支部長代理の挨拶の後、首都大学東京の藤部文昭氏により「日本の都市気候」について分かりやすく説明していただきました。次いで、東京工業大学の神田 学氏により「ヒートアイランドのメカニズム」について分かりやすく説明していただきました。休憩をはさんで最後に、名古屋大学の飯塚 悟氏に「名古屋のヒートアイランド」について分かりやすく説明していただきました。参加者は 36 名を数え、各講演には多くの質問があり、関心の高さを感じました。

◆ 平成 27 年度日本気象学会中部支部研究会のお知らせとプログラム

今年度の中部支部研究会は、11 月 24 日（火）～25 日（水）の 2 日間にわたり、静岡市清水区の東海大学海洋学部清水キャンパスにおいて開催する予定です。以下のプログラムに示す 21 件の講演が予定されています。会員の皆様には、同封した講演要旨集に詳細が記載されていますが、この支部だよりも研究会のプログラムを以下に記載しました。ご興味のある方は是非、会場にお越しください。

日時： 2015 年 11 月 24 日（火曜日）13:00～18:20（終了後、懇親会を開催します）
11 月 25 日（水曜日）09:30～12:15

場所：東海大学海洋学部（静岡市清水区折戸 3-20-1）

※講演 1 件あたりの割当て時間は 20 分を予定しております。各講演者の方は講演時間 15 分、質疑時間 5 分を目安とした講演をお願いいたします。

※懇親会費用は一般 3000 円、学生 2000 円です。

※JR 清水駅からの案内図は支部ホームページあるいは以下の URL をご覧ください。

http://kutty.og.u-tokai.ac.jp/~kunio/kishou_chuubu/2015/2015kenkyuukai_youkou.htm

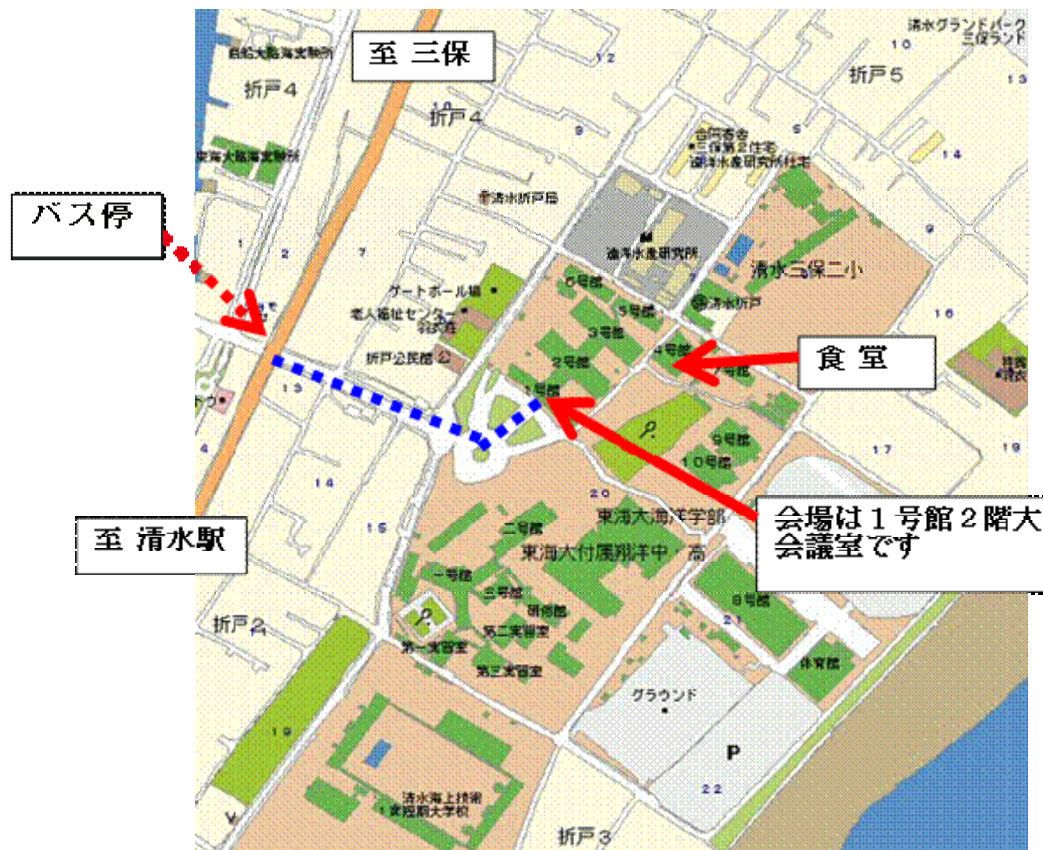
支部研究会についてのお問合せ先
〒464-8601 名古屋市千種区不老町
名古屋大学大学院環境学研究科
永尾一平
i.nagao@nagoya-u.jp
電話：052-789-3483

平成 27 年度日本気象学会中部支部研究会

1. 日時: 2015 年 11 月 24 日(火曜日) 13:00~18:20 (終了後、懇親会)
11 月 25 日(水曜日) 09:30~12:00
2. 場所: 東海大学海洋学部 清水キャンパス 1 号館 2 階大会議室
(静岡県静岡市清水区折戸 3-20-1)
3. 交通案内: 会場となる東海大学海洋学部清水キャンパスへは、JR 東海道線清水駅下車。清水駅前から静鉄バスの「三保ランド行き」、「三保車庫行き」、あるいは「三保灯台行き」に乗車し、「東海大学・海員学校前」(約 20 分)で下車し、徒歩約 2 分です。

清水駅からのバスダイヤなどは、以下の URL にリンクされています:

http://kutty.og.u-tokai.ac.jp/~kunio/kishou_chuubu/2015/2015kenkyuukai_youkou.htm



支部研究会についての問合せ先

〒464-8601 名古屋市千種区不老町 名古屋大学大学院環境学研究科 永尾一平
電話: 052-789-3483, e-mail: i.nagao@nagoya-u.jp

会場についての問合せ先

〒424-8601 静岡市清水区折戸 3-20-1 東海大学海洋学部海洋地球学科 響田邦夫
電話: 054-337-0196, e-mail: kkutsu@scc.u-tokai.ac.jp

同 東海大学海洋学部海洋地球学科 久保田雅久
電話: 054-337-0916, e-mail: kubota@mercury.oi.u-tokai.ac.jp

平成27年度 日本気象学会中部支部研究会 講演プログラム

11月24日(火)

時間帯	順	講演者	タイトル	所属	共著者
13:00		事務局	開会の辞		
13:00-13:03		内田裕之	支部長挨拶		
13:03-13:05		事務局	連絡		
13:05-13:25	1	西尾伊三男	数日先までの「警報級の現象になる可能性」の予測について	名古屋地方気象台	
13:25-13:45	2	澤井宏佑	タイムラプス動画を用いた動的観天望気	三重大学生物資源学部	立花義裕、小松謙介
13:45-14:05	3	田中隆一	エクマン層と高・低気圧	日本気象学会	
14:15-14:35	4	豊田将也	台風Haiyanとそれに伴う高潮に関する数値的研究	岐阜大学大学院工学研究科	吉野純、小林智尚
14:35-14:55	5	金井厚平	日本の南海上で急激に衰弱した1997年台風13号～遠方からの水蒸気流入が及ぼす影響～	三重大学生物資源学部	立花義裕、小寺邦彦、山崎孝治
14:55-15:15	6	堀口桃子	2011年台風6号がシターンした理由とは	三重大学大学院生物資源学研究科	立花義裕、山崎孝治、小寺邦彦、中田晃志
15:25-15:45	7	荒井建伍	北陸地域における冬季降雪パターンの時・空間変動に関する研究	富山大学理学部	安永数明
15:45-16:05	8	友近全志	初冬の北陸地域における降水量増加傾向について	富山大学理学部	安永数明
16:05-16:25	9	青木友里	東西の熱帯太平洋における降水特性の違い	富山大学理学部	安永数明
16:25-16:45	10	草刈智一	治水計画のための年最大日降水量の非定常頻度分析～北海道・東北地方への適用～	元信州大学大学院	寒川典昭、中屋眞司、山崎基弘
17:00-17:20	11	井上裕介	北半球にひそむ南極振動の影～成層圏は両半球を繋ぐ航路～	三重大学生物資源学部	立花義裕、小寺邦彦、山崎孝治、緒方香部
17:20-17:40	12	八木雅文	南大洋上における大気海洋経年変動とその要因	東海大学海洋学部	響田邦夫、永延幹男
17:40-18:00	13	垣内 陽	北太平洋亜熱帯循環系の海洋構造—異なる海上風の駆動によって再現されたモデルの比較検証—	東海大学海洋学部	響田邦夫、田嶋莉奈、笹井義一
18:00-18:20	14	亀村 光	冬季黒潮・黒潮続流域における大気海洋相互作用—海上風における低気圧性渦の発生発達機構—	東海大学海洋学部	響田邦夫
18:30-20:00			懇親会		

11月25日(水)

時間帯	順	講演者	タイトル	所属	共著者
09:30-09:50	15	小端宏幸	表皮水温に関する研究	東海大学海洋学部	久保田雅久
09:50-10:10	16	日原 勉	北太平洋における海面水温の季節変動メカニズム	東海大学大学院地球環境科学研究科	久保田雅久
10:10-10:30	17	坂本理沙	MJO対流消滅時における大気海洋相互作用の観測的研究	東海大学大学院海洋学研究所	久保田雅久
10:45-11:05	18	上村拓也	寒冷渦に関連した500hPa高度の予測誤差変動：日本付近における2014年春季の例	愛知教育大学理科教育講座	田口和正
11:05-11:25	19	川崎健太	オホーツク海が無ければ梅雨は弱まる！？	三重大学大学院生物資源学研究科	立花義裕、中村 哲、山崎孝治、小寺邦彦
11:25-11:45	20	橋本佳貴	富山における熱的局地循環	富山大学理学部	安永数明
11:45-12:05	21	吉川梨子	高等学校地学授業における気象台との連携	静岡県立清水西高等学校	
12:05-12:15		立花義裕	理事からの講評		